

第2章 台東区の現状

国保データベースシステム（以下「KDBシステム」）及びそれを補完する外付けシステムである sucoyaca のデータ、その他統計を基に分析を行いました。KDBシステムではレセプトデータから最も医療資源を要した疾患（最大医療資源）を使用しています。また、分析項目により疾病分類が異なることがあります。なお、医療費については10割の金額で記載しています。

1 人口と国保加入者数

(1) 台東区の人口の推移（年度別平均）

台東区の人口は増加しており、令和元年度には20万人を超えました。国保加入者数は平成30年度には26.07%でしたが令和4年度は21.77%と年々減少傾向にあります。

【図表：2-1】

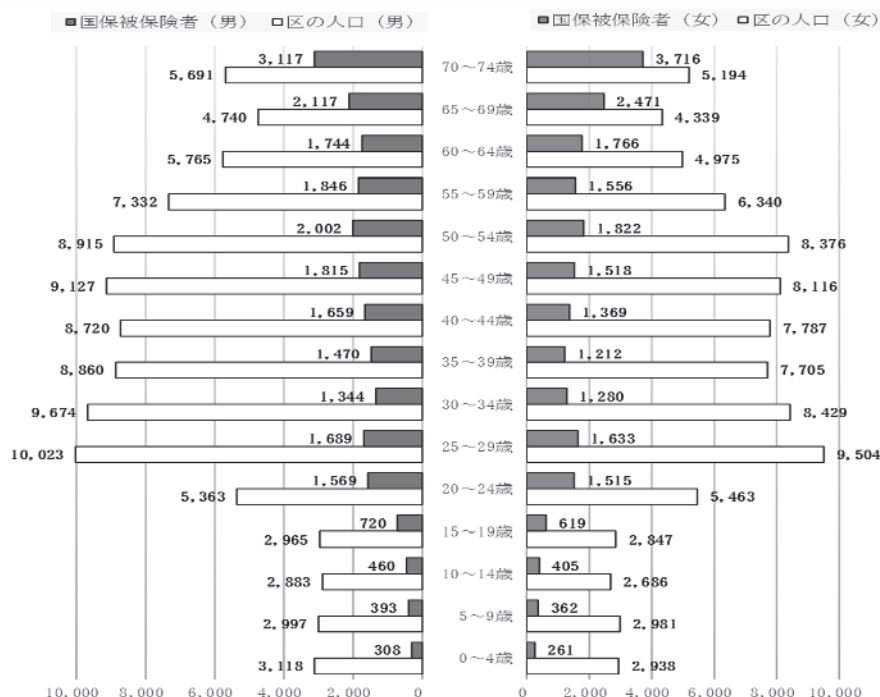
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人口（人）	198,984	201,919	203,445	203,914	206,977
国保加入者数（人）	51,879	49,973	47,769	46,213	45,066
国保加入割合（%）	26.07	24.75	23.48	22.66	21.77

出典：国保のあらまし

(2) 国保加入者の年齢階層別構成（令和4年度）

国保加入者数は年代が上がるほど多くなる傾向にあり、70～74歳で最も多くなっています。

【図表：2-2】



出典：国保のあらまし

2 平均寿命と健康寿命

(1) 平均寿命

台東区の平均寿命は平成 22 年が男性が 77.9 歳で東京都と 2.0 歳、国とは 1.7 歳の差がありました。同じく女性の平均寿命は 85.6 歳であり、東京都・国と 0.8 歳の差でした。

令和 2 年の調査では、男性が 80.7 歳まで伸び、東京都との差が 1.1 歳、国との差が 0.8 歳と差が縮まりました。女性は 87.8 歳となり、東京都の 87.9 歳、国の 87.6 歳とほぼ同じとなりました。

【図表：2-3】

		平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
台東区	男	77.9 歳	79.5 歳	80.7 歳
	女	85.6 歳	86.8 歳	87.8 歳
東京都	男	79.9 歳	81.1 歳	81.8 歳
	女	86.4 歳	87.3 歳	87.9 歳
国	男	79.6 歳	80.8 歳	81.5 歳
	女	86.4 歳	87.0 歳	87.6 歳

出典：厚生労働省「市区町村別平均寿命」

(2) 台東区の健康寿命（65 歳健康寿命）の推移

台東区の健康寿命は、男性は平成 29 年から 0.25 歳、女性は 0.26 歳の伸びがみられません。

東京都と比較するといずれの年も男女ともに低くなっており、令和 3 年は女性の差は 0.33 歳ですが、男性は 1.38 歳の差があります。

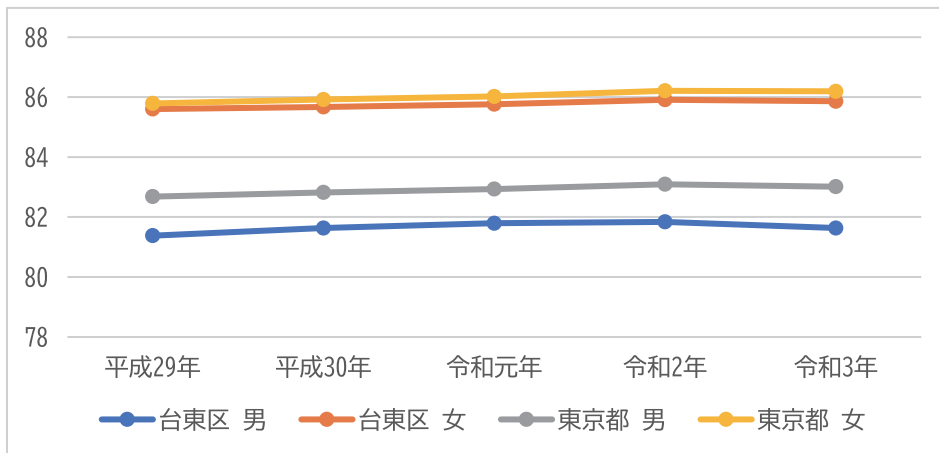
【図表：2-4】

		平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
台東区	男	81.38 歳	81.63 歳	81.79 歳	81.84 歳	81.63 歳
	女	85.60 歳	85.67 歳	85.76 歳	85.91 歳	85.86 歳
東京都	男	82.68 歳	82.82 歳	82.93 歳	83.09 歳	83.01 歳
	女	85.79 歳	85.92 歳	86.02 歳	86.21 歳	86.19 歳

出典：65 歳健康寿命（東京保健所長会方式）

台東区健康寿命

【図表：2-5】



(3) 台東区の高齢化率の推移

令和4年度と令和元年度を比較すると0.71%減少しています。台東区の人口は増加しており、それに伴い高齢化率は減少していると考えられます。

東京都は横ばいですが、全国は上昇傾向にあります。

【図表：2-6】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
台東区	23.10%	22.80%	22.60%	22.39%
都	22.59%	22.57%	22.67%	22.79%
国	28.44%	28.79%	28.86%	29.06%

出典：台東区高齢者実態調査報告書（令和4年度）
令和4年度の国の値は概算値

3 死因別割合

台東区的主要死因の1位は「悪性新生物」で全体の26.0%を占めています。続いて2位が心疾患、3位が脳血管疾患となっており、東京都、国ともに同様の傾向を示しています。

死因別割合（令和3年）

【図表：2-7】

順位	死因	台東区	東京都	国
1位	悪性新生物	26.0%	26.9%	26.5%
2位	心疾患	14.3%	14.9%	14.9%
3位	脳血管疾患	7.3%	7.0%	7.3%
4位	肺炎	5.1%	4.6%	5.1%
5位	不慮の事故	2.7%	2.2%	2.7%

出典：台東区保健所事業概要、厚生労働省人口動態統計、東京都人口動態統計

4 標準化死亡比

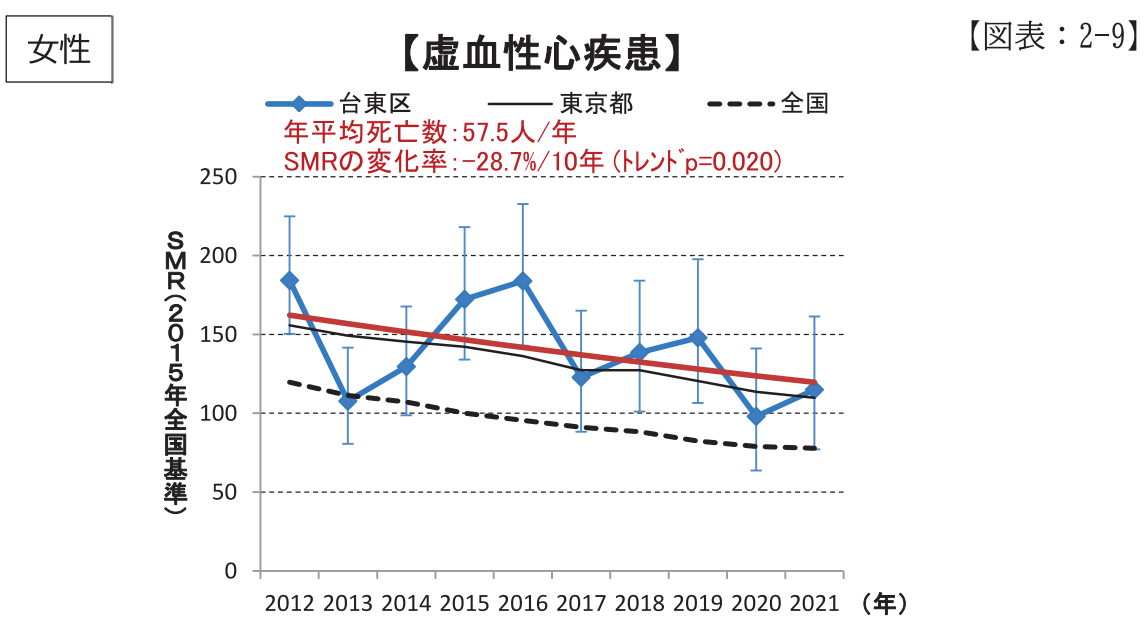
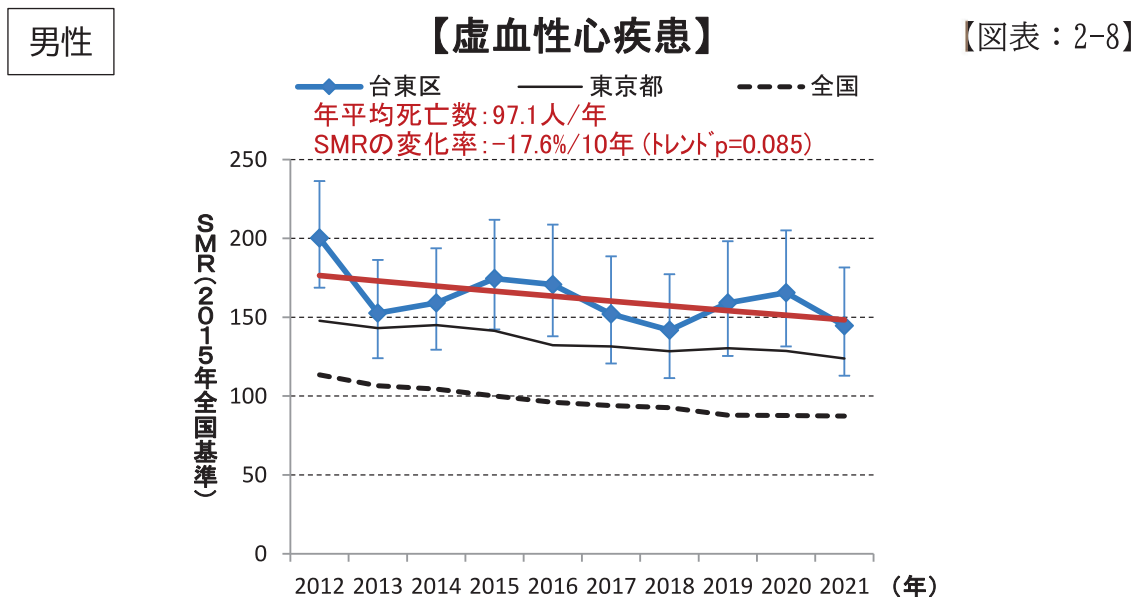
以下は、2015年の全国を100とした場合に台東区の標準化死亡比が高い疾患について取り上げたものです。

(1) 虚血性心疾患

台東区の標準化死亡比（SMR）の経年推移は、男女ともに虚血性心疾患が全国と比較して特に高くなっています。

男女ともに死亡比は下降傾向であるものの、全国・東京都共に下降しているため、2012年と2021年を比較しても差は縮まっていません。

下図の赤色の線は台東区の10年間のSMRの増減傾向を平滑化したものです。



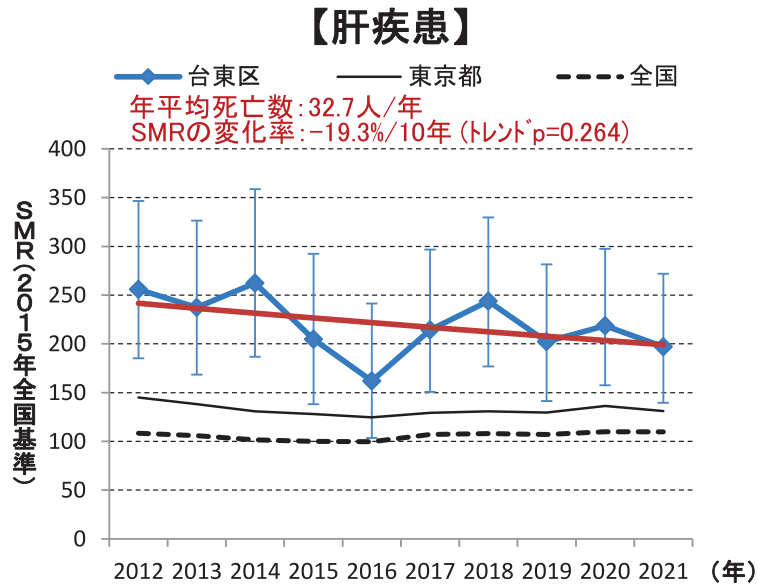
出典：国立保健医療科学院（全国市町村別主要死因別標準化死亡比（SMR）の推移（2012年～2021年））

(2) 肝疾患

男女ともに全国、東京都と比較すると高くなっていますが、特に男性の標準化死亡比が高くなっています。

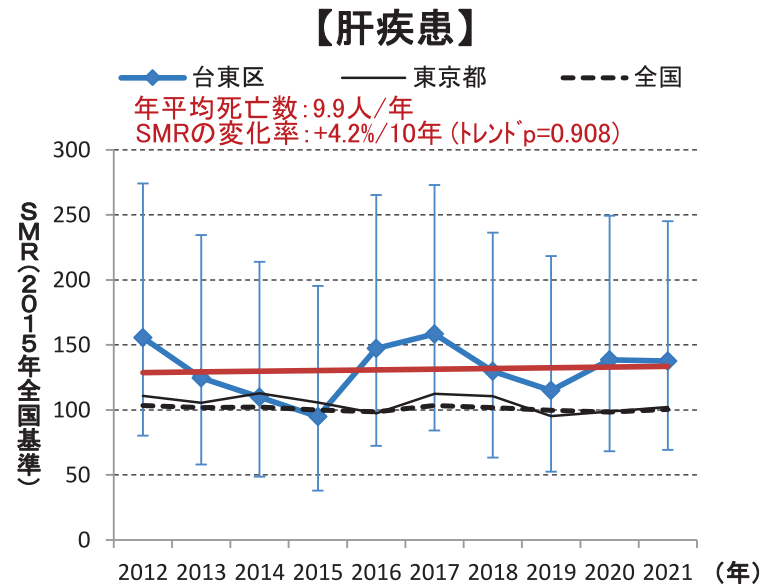
【図表：2-10】

男性



【図表：2-11】

女性



出典：国立保健医療科学院（全国市町村別主要死因別標準化死亡比（SMR）の推移（2012年～2021年））

5 介護の状況

ここでは40歳以上の国保加入者・後期高齢者医療制度加入者の状況を示しています。

(1) 要介護認定率

台東区の1号認定率は22.2%で、東京都平均の20.7%より高く、国・同規模自治体と比較しても高くなっています。

要介護認定率（令和4年度）

【図表：2-12】

	台東区	東京都	同規模	国
1号認定率	22.2%	20.7%	20.5%	19.4%
2号認定率	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

出典：KDBシステム「地域の全体像の把握」

(2) 1件当たりの給付費

台東区の1件当たりの介護給付費は51,335円で、東京都の52,461円より低く、国・同規模自治体と比較しても低くなっています。

1件当たり介護給付費（令和4年度）

【図表：2-13】

	台東区	東京都	同規模	国
1件当たり給付費(円)	51,335	52,461	55,521	59,662

出典：KDBシステム「地域の全体像の把握」

(3) 要介護者の有病状況

基礎疾患としては「心臓病」が最も多く、東京都、同規模自治体、国でも同様の傾向です。次に「筋・骨格」が多くなっています。

要介護者の有病率（令和4年度）

【図表：2-14】

疾病名	台東区	東京都	同規模	国
糖尿病	23.1%	23.1%	24.8%	24.3%
心臓病	57.0%	56.9%	60.6%	60.3%
脳疾患	20.0%	20.3%	22.6%	22.6%
筋・骨格	52.7%	51.2%	54.1%	53.4%
精神	32.2%	35.3%	37.0%	36.8%

出典：KDBシステム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」